



JAバンク福島における 地域密着型金融の取組状況 (平成21年度)

平成22年10月
農林中央金庫福島支店

JAバンク(県下17JA,農林中央金庫福島支店)では、農業と地域社会に貢献するため、平成19~21年度JAバンク福島中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成21年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

目次

農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み）

… P. 4

担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

… P. 11

経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

… P. 14

地域社会への貢献活動

… P. 17

農山漁村等地域の活性化のための 融資を始めとする支援

(JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み)

農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク福島は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成22年3月末時点のJAバンク福島の農業関係資金残高は、23,123百万円となっています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

【資金種類別農業資金残高】

(単位:百万円)

種 類	平成22年3月末
プロパー農業資金	16,289
農業制度資金	6,834
農業近代化資金	1,243
その他制度資金	5,591
合 計	23,123

(注)

1. プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。
3. その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位:百万円)

種 類	平成22年3月末
日本政策金融公庫資金	3,851
その他	1
合 計	3,852

(注)

JAバンク福島では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【営農類型別農業資金残高】

(単位:百万円)

営農類型	平成22年3月末
農業	23,061
穀作	4,526
野菜・園芸	1,767
果樹・樹園農業	1,262
工芸作物	94
養豚・肉牛・酪農	963
養鶏・鶏卵	12
養蚕	2
その他農業	14,433
農業関連団体等	62
合計	23,123

(注)

1. 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3. 「農業関連団体等」には、専門農協が含まれています。

担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク福島では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内17JAと金庫支店に計34人の「担い手金融リーダー」を設置し、活動のサポートをしています。
- 農林中央金庫福島支店では、JAにおける農業融資機能の強化に向けた取組みのサポート(農業者からの相談のバックアップ、JAとの協調融資など)と、県内農業生産法人との新規取引を目的に、農業金融センター機能を担う「農業金融班」を平成21年10月1日に設置しています。

JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

取組内容

JAの事業基盤である農業者のJA利用満足度向上のため、金融部署と営農・経済部署等が協調して農業者を定期訪問するための体制構築の協議を実施。

JAの融資担当者と営農・経済部署等の職員が合同で農業資金に関する知識を習得するための研修会を開催。

県域事業間連携の推進

- JAバンク福島では、全農福島が主催するアグリフェア（農機具展示会）に協賛し、担い手支援コーナーにおいて、来場者に対する農業資金のPR・相談、アンケート活動を実施し、JAバンクの知名度アップと農業資金の円滑な対応をPRしています。

【イベント開催状況】

イベント名	開催日	主催者	場所	総来場者数	内容
アグリフェア 2009inふくしま	7月9日 7月10日 7月11日	全農 福島	ビッグパレット ふくしま	4,197名	・農機具等購入に要する 資金のPR・相談活動 ・406件のアンケート実施



写真:アグリフェアの担い手支援コーナーにおいて、各JAの担い手金融リーダーが来場者に対して農業資金のPR・相談,アンケートを実施している様子

担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

新規就農者の支援

- JAバンク福島では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、新規就農支援資金(施設資金転貸)を取り扱っています。
- JAによっては、市町村と連携しワンフロアー化による新規就農相談窓口の設置を行っています。
- また、JAそうまでは「福島県ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用した南相馬市からの委託事業で「農業後継者育成支援事業」を行っており、研修後の独立就農に向けた資金相談にも対応しています。

< 農業後継者育成支援事業の概要 >

南相馬市在住の失業者で農業に興味・やる気があり、農業を始めたい方をハローワークを通じて募集し、農業研修生として受け入れています。

現在、5名の方が当JAの臨時職員として、南相馬市管内の水稻・園芸を中心とした先進的な中核農家で、農業技術や経営のノウハウを身につけるための技術研修を行っています。

経営不振農家の経営改善支援

- JAバンク福島では、農業負債整理資金の対応等にあたり、特別融資制度推進会議の一員として、農業者の経営再建に向けて関係機関と協調し円滑な資金融通を行っています。

【平成21年度の農業者の経営改善支援取組実績】

経営改善支援取組先	のうち再生計画策定先	のうち経営改善が図られた先	事業計画策定率 /	経営改善率 /
508	302	17	59.4%	3.3%

(注) 経営改善支援取組先は、JAが再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。

経営の将来性を見極める融資手法を 始め、担い手に適した資金供給手法の 提供

負債整理資金の提供による償還負担の軽減

- JAバンク福島では、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。平成21年度の実績は以下のとおりです。

【平成21年度 負債整理資金貸出実績】

(単位:件、百万円)

資金名	取扱JA	実行件数	実行金額	平成22年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金	全JA	0	0	177
畜産特別資金	全JA	0	0	34
特別対策(決裁)資金	JA新ふくしま JAそうま	18	39	98
農家更生貸付金	JA新ふくしま JA東西しらかわ	0	0	129
その他	JA新ふくしま JAすかがわ岩瀬 JA東西しらかわ	4	41	361
合計		22	60	799

・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・その他は、制度資金、特別対策資金、農家更生貸付金を除くプロパー資金(要綱資金、独自資金)が該当します。

生産資材高騰等への支援資金

- JAバンク福島では、農畜産物の価格低迷と生産資材等の価格高騰のなかで農家・組合員の営農を支援するための資金を創設し対応しました。

【平成21年度 生産資材高騰等への支援資金貸出実績】 (単位:件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付金額
家畜飼料高騰対策	JA新ふくしま	養豚業者への飼料価格高騰に対する支援資金を創設したものの。	1	8
農家応援資金の創設	JAすかがわ岩瀬	農産物価格の低迷、農業生産資材の価格高騰等激変する農業情勢のなか、農家・組合員に生産基盤の設備・維持拡充に要するための低利資金を創設したものの。	95	268
農業収入の減少・生産資材の価格高騰の対応	JAそうま	自然災害等による農産物価格の低迷、生産資材価格高騰のなかでJAに支払うべき決済資金の便宜を図るため低利の資金を創設したものの。	18	39
合計			114	315

地域社会への貢献活動

地域住民の農業に対する理解促進

- JAバンク福島は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の5年生在校の515校へ、24,864セットが配布され、学校の授業等において活用されています。

0003101001

◎勉強した感想を送りましょう。◎

私は、この本でおぼれできるまで、お汁のつくり方などはよくわかりました。おぼれたいものや、おぼれたいことばかりです。野菜や動物、虫を育てたり、取ったりするのは、時間がかかるので、がんばって育てたいです。そして、この本の中にあるところがあるところ、くさりやすかったです。6年生になっても、この本で勉強を続けて、楽しく勉強をしていきたいです。

アンケート

よくわかった。 少しわかった。 わかりませんでした。

学年 5年2組



写真左:教材を使って勉強した小学生から寄せられた感想文

写真右:いわき市立中央台北小学校において、教材「農業とわたしたちの暮らし」を活用した授業が行われている様子

- また県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JA新ふくしま	学校教育支援事業等	小学生農業体験・食体験活動
JA伊達みらい	あぐりスクールのうぎょうの森等	小学生食農体験教室
JAみちのく安達	ちびっこ農業大学	小学生農業体験・米粉料理教室
JA郡山市	農業体験学習等	小学生バケツ稲づくり・田んぼの生き物調査
JAすかがわ岩瀬	あぐりスクール	小学生農業体験・バケツ稲づくり
JAたむら	子供大学	小学生農業体験学習・郷土料理教室
JAあぶくま石川	農業体験学習等	小学生バケツ稲づくり・料理教室・作文コンクール
JAしらかわ	アグリスクール	小学生農業体験・田んぼの生き物調査
JA東西しらかわ	農業体験学習等	小学生農業体験・田んぼの生き物調査
JAあいづ	農業体験学習等	小学生バケツ稲づくり・食農教育・米粉パン提供
JA会津いいで	学校給食支援活動	学校給食食材(地元産米)提供

JA名	活動名	活動内容
JA会津みどり	学校給食支援活動	学校給食食材(和牛)提供
JA会津みなみ	農業体験学習等	小学生農業体験・学校給食食材提供
JAいわき市	農業体験学習等	小学生農業体験・田んぼの生き物調査
JAいわき中部	農業体験学習等	園児・小学生農業体験
JAふたば	農業体験学習等	小学生農業体験・食農教育関連イベント
JAそうま	農業体験学習等	小学生農業体験・学校給食食材提供・食農講演会



写真左: 梨収穫体験学習が行われている様子。
(JA新ふくしま)

写真右: 田植え体験学習が行われている様子。
(JAいわき市)

環境保全活動への取組み

- JAバンク福島は、社会貢献活動の一環として、JAが地域の皆様からお預かりした定期貯金(愛称:エコスマイル定期貯金)のJAにおける運用益の一部と、JAバンクアグリ・エコサポート基金からの寄付金贈呈により環境保全活動にも取り組んでいます。

【エコ定期貯金取扱いによる環境保全活動】

事業名	実施主体	贈呈先	贈呈金額
JAエコ定期貯金	県内17JA	・(社)福島県緑化推進委員会 ・福島県	863,130円
JAバンクアグリ・エコサポート事業	JAバンクアグリ・エコサポート基金		863,130円